

## 強制失踪委員会第 16 会期閉幕

2019/04/18

国連人権高等弁務官事務所

強制失踪委員会第 16 会期が閉幕した。今会期では、強制失踪条約の実施状況に関するチリ、イタリア、ペルーの報告書が審査され、それぞれに対する最終見解と勧告が採択された。閉会にあたり寺谷広司報告者が会期中の活動について発言し、2020 条約機関レビューに関連して、委員会は事務総長に対し総会決議 68/268 の実施に関する報告書に委員会のすべての活動を掲載するよう求めることを決議したと述べた。委員長は、今会期中に採択された失踪者の捜査に関する指導原則は、各国の捜査における障壁克服の成功例を収集しており、各国に新たな義務を課すのではなく、各国の方針策定を支援するものであると述べ、指導原則を広く普及させ、指導原則の実施における成功例を収集するよう求めた。第 17 会期は 9 月 30 日～10 月 11 日に開催され、ボリビアとスロバキアの報告書が審査される予定である。